

50Wダミーロードキット DC~500MHz

MAX100W NJ型

このキットは格安に高性能ダミーロードを製作するためのキットです。
パーツにキズ、汚れが多少ありますが、ご了承ください。

パーツ一覧 下記のパーツがそろっていることをご確認ください。

- ・ 銅円板A 1個
- ・ 銅円板B 1個
- ・ 銅パイプ 4φ×25mm 1個
- ・ N-BRコネクタ（NJ型） 1個
- ・ 510Ω 5W 酸化金属皮膜抵抗 10個

用意する道具

- ・ ハンダこて 100Wクラスのもの
- ・ 糸ハンダ 1mm程度の物
- ・ 軍手（やけど防止）
- ・ ニッパー、小型ハンマー、スパナ、ペンチ等
- ・ バイス（作業時の固定用に）
- ・ テスター、SWR計、トランシーバー等

製作順序

1. 銅円板AにN-BRコネクタを取り付ける。スパナで強く締め付ける。アースラグ板は使用しない。
2. NJコネクタのセンターピンに銅パイプを叩き込む。きつい時は銅パイプを暖めると入れやすい。
3. 銅パイプの中に糸ハンダを1cm程に切って入れ、センターピン付近をハンダこてで暖めて、中のハンダを溶かして、センターピンと銅パイプをハンダ付けする。
4. 銅円板Aに510Ω抵抗を10個取り付ける。リード線を中心から放射状に折り曲げてハンダ付けをする。抵抗はカラーマークの位置が交互になるように上下の配置をする。余分なリードはニッパーで切る。（銅円板に油脂が付いていると、ハンダが付き難いので、アルコールでふき取るか、予め洗浄しておくが良い） やけどに注意
5. 銅円板Bに抵抗のリードと銅パイプを通す。リードが通りにくいので、順に通していくと良い。リードは同じように中心から放射状に折り曲げてハンダ付けをする。ハンダ付けをする前に抵抗の位置は整えておく。
6. センターの銅パイプをハンダ付けする。
7. テスターでNJコネクタとグランド間の抵抗値が510Ωであることを確認する。SWR計で各周波数のSWRを測定する。（FMまたはCWモード）SWR値が1.2以下（1.5以下でも問題ない）であることを確認する。

***注意**

- ・ 50W出力でも測定時間は1分程度にする。100W以上の測定をする時は10秒以内で行うことが望ましい。
- ・ 測定時は抵抗が高温になることがあるので、安易に抵抗に触れないこと。
- ・ ダミーロードが周囲の金属等に触れると、周波数特性が悪化することがある。

